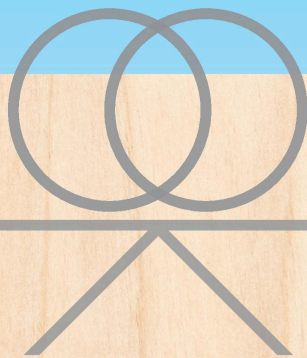


保存版



イワテバコ特別編

S H I Z U K U I S H I B A K O

シズクイシバコ

しずくいしのまちと、ひとと、しごとと。



特集 いわて・しずくいしで暮らす

取材協力：磐石町
制作：岩手日報社広告事業局

IVATE NIPPO
CO., LTD

岩手日報

岩手日報創刊
一四〇周年
記念

雫石で暮らす

豊かな自然に囲まれて
ここは、子どもがのびのび育つまち。



元気と笑顔がはじける運動会

豊富な温泉にスキー場、小岩井農場などを有し、観光地として名高い雫石町。

岩手山をはじめとする山々に囲まれた扇状の盆地で、山麓には、天然林や牧野、田畑が広がるのどかな風景が楽しめる。田畑の耕地は、葛根田川・雫石川・南川の3河川流域に広がっており、きれいな水はおいしい農作物や乳製品を育てている。

人口約1万7千人。再生可能エネルギーの自給率は県内一位で、地熱や水力、太陽光発電などに積極的に取り組んでいる。

夏は湿度が低いいため気温が上がっても過ごしやすく、冬は丁寧な除雪が行き届き、雪のある暮らしを楽しむことができる。

豊かな自然と移ろう四季の中では子どもたちの明るい笑い声が響き、見守る地域のまなざしはあたたかい。

地元の食材もふんだんに使用し、各学校の給食室で作られる「自校式給食」は、子どもたちにあたたかく栄養バランスの良い食事を提供。登下校時の安全を確保するため、地域ぐるみで見守りをする「スクールガード」や医療費の助成、保育料の軽減など、子どもたちがすくすくと伸びやかに育つための環境が整っている。

「仲間意識が強く、人々があたたかい」。雫石へ移り住んだ人々は口をそろえる。人とのつながりに癒やされながら、次の100年を見据えた新たな雫石づくりは進んでいく。

ちょうど良いまち

雫石

県内最高峰の岩手山をはじめとした雄大な自然が広がる雫石町。きれいな水が流れ、おいしい農作物が多い。登山や紅葉、スキー、温泉などの観光施設も充実している。移住・定住へのサポートを強化しており、子育てや教育支援も充実。移住地としての注目が高まっている。

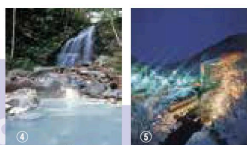


Shizukuishi

【位置】盛岡市の西方約16kmに位置
【人口】17,083人(平成29年2月末現在 住民基本台帳より)
【世帯数】6,245世帯(平成29年2月末現在 住民基本台帳より)
【面積】608.82km²(およそ東西24km、南北40km)

温泉

町内に10の異なる源泉を持つ、温泉の宝庫、雫石。約1300年前に発見された歴史ある温泉などが点在している。山あいの静かな秘湯や、眺望自慢の露天風呂など、どの温泉も魅力的。日頃の疲れをゆっくり癒やす、湯巡りを楽しみたい。



- ① 網張温泉(林蔵村岩手網張温泉本館)
- ② 国見温泉(森山荘 新緑)
- ③ 鶯宿温泉足湯
- ④ 網張温泉仙女の湯
- ⑤ 鶯宿温泉冬

子育て支援



雫石は、町をあげて子育てを応援している。2015年に保育料の見直しを行い、第2子の保育料は最大半額免除、第3子は無料とした(条件による)。また、一時保育や、延長保育、休日保育の利用も可能。子どもが病気の時に、保護者の代わりに病後児保育施設で子どもを預かる病後児保育も実施している。

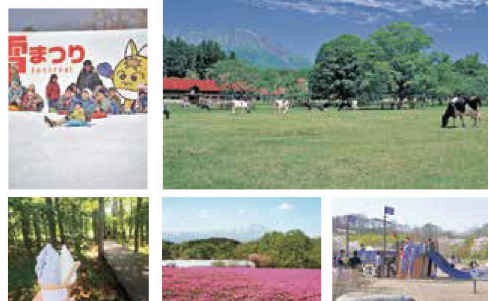


住まい



自然と調和した循環型社会を目指し、町民のクリーンエネルギー設備導入に対して、補助金が交付される。まきストーブに憧れがある人にもうれしい制度。また、雫石町産木材を利用した木造住宅にも補助金を交付している。総面積の約8割が森林である雫石らしいサポートだ。空き家を改修する際も工事に要する補助を受けられる場合がある。移住を希望する人には雫石までの旅費の一部助成やおためし居住などの制度もあり、町を挙げて移住者を歓迎する。

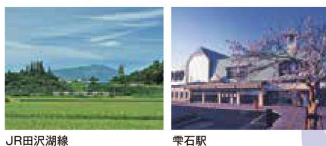
遊び



雫石にはレジャースポットもたくさん。観光地としても名高い小岩井農場は2017年に歴史的建造物が国の重要文化財指定を受けた。子どもたちが駆け回るまきば園は、乗馬やアスレチックなどの「楽しい」がいっぱい。長山街道をドライブし、季節に関わらずアイスクリームが大人気の「松ぼっくり」や、四季折々の花が咲き誇るガーデニング専門店「花工房らら倶楽部」を回るのも良い。御所湖広域公園「ファミリーランド」は噴水や大型遊具などがあり、家族みんなで楽しむことができる。

アクセス

JR秋田新幹線「こまち」で乗り換えをせず東京までの所要時間は約2時間30分。盛岡市までは車で約25分、電車で約16分と利便性抜群。雫石駅には158台の無料駐車場があり、盛岡まで電車通勤もお勧めだ。



JR沢湖線

雫石駅



JR秋田新幹線こまち

自然エネルギー

1978年に1号機、1996年に2号機が完成した葛根田地熱発電所や、葛根田水力発電所、大規模太陽光発電など、再生可能エネルギーを利用した発電所が稼働している。また、役場や公民館など防災拠点となる公共施設にも太陽光発電設備が設置されているほか、民間ではバイオマスを受け入れ、メタン発酵と堆肥化で複合処理し、エネルギーを生み出すリサイクルも行っている。





広がる無限の可能性。
ここで暮らす、という
自由とぜいたく。

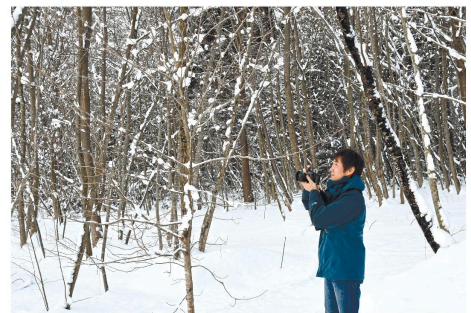
写真家 奥山 淳志さん
おくやま ちゆし

宮澤賢治作品に出てくる地名を巡る旅をし、雫石の風景に心ひかれた。写真家の奥山淳志さん(44)は「平地の森、田んぼや川などがきれいに混ざり合った景色を見た時に、ここに住みたいと思った」と振り返る。

「東北で写真を撮るうえで『今』というこの時間、東北に自分も身を置いているということがとても重要。だから、今の僕にとって雫石で暮らすということは必然」と言う。雫石の良いものや人、伝統を実際に自分で見たいという思いがあり「撮影や取材をする今の仕事は多くの新たな世界に出会うことができる」と仕事にも精力的。

雫石町が2016年3月に発行した、移住応援パンフレット「はばたく。」の撮影や取材も担当。雫石に溶け込んだ奥山さんにしかとらえることのできない町民の味わい深い表情や、温かくもおもしろいコラムなどが評判だ。

「人生で得られる最も大きな自由が



移住ではないか」と考える奥山さんは、チャンスがあるならば、積極的に移住することを勧める。雫石の人の特長を「良い」+減で「おらかなこと」と評し「まあやってみよう、という雰囲気がある心良い。こんなにも悠々自適に暮らせる雫石には、可能性が無限にある」と、愛着は深い。まきストープでの生活や、愛犬との冬の散歩など、自由に何でも好きなことができるのが雫石流だ。

雫石にはJR秋田新幹線「こまち」も停車し、県内外に出張の多い奥山さんにはびびり、インターネットの発達に伴い、仕事もダイナミックになり、今や活動は全国各地に及ぶ。「東京か地方かは関係ない。移住にとっては追い風なのかな」とほほ笑む。

奥山さんが作成に携わった、移住応援パンフレット「はばたく。」は雫石町企画財政課で無料配布中。



福祉施設・子育て

●地域子育て相互支援事業

緊急に子供の世話が出来なくなったり、子供が風邪・けが等で保育所にいけない時、子育て支援ボランティアの会が、ボランティア宅や社会福祉協議会内、依頼宅で保育等を行います。

受付窓口	子育て支援ボランティアの会(雫石町社会福祉協議会) 【平日】8:00~18:00 電話692-2230 【上記以外の時間】電話693-3467(会長宅)
利用料	児童1人あたり 1時間400円

●地域子育て支援センター

雫石町板橋104-1(七ツ森保育所内) 電話692-0722
【会館時間】月曜日~金曜日 9:30~16:00
※利用はすべて無料です。お気軽にご利用ください。

- 子育て相談
- 支援活動
- 施設開放

●保育所施設開放(無料)

利用対象者	保育所に入所していない就学前の児童(大人の同伴が必要です)
開館日時	保育所が休みの日以外の午前中
実施保育所	へき地保育所・雫石保育園を除く保育所

平成29年度から町営保育所へのエアコン設置や遊具の更新など、保育環境のさらなる改善に取り組みます。

不妊治療助成

不妊治療に係る経費の一部を助成。男女共に対象。

保育料の軽減

第2子最大半額免除、第3子無料(条件による)。

医療費助成制度

中学生以下の医療費が無料。平成29年4月からは高校生まで対象を拡大予定。



病後児保育

お子様が病気の回復期で集団保育ができない時に、保護者の代わりに病後児保育施設でお預かりします。

出産祝い金

第3子以降の出産者に5万円を支給。さらに5万円分地域商品券を贈呈・記念品もプレゼント。

特別保育

保護者の仕事などの事情で一時的に預ける一時保育や、通常保育時間以降の保育を行う延長保育、休日に保育を行う休日保育の利用が可能。



Morioka

Shizuokishi

農家
ふじえだ まさみち
藤枝 正道さん



両親とそば屋「しんざん」の前でほほえむ藤枝正道さん(中央)

おいしい野菜を雫石から

広い農地においておいしいそば。新緑の季節は店先をポニーが駆け回り、コイが優雅に泳いでいる。冬がきて雪が降れば、そこには見渡す限りの銀世界が広がる。

雫石で農業に従事する藤枝正道さん(36)は27歳の頃、就農のために盛岡から雫石へ移住。「定年後、土いじりをしてほしい」と父の文夫さん(69)が買っていた農地付きの一軒家に「自分が先に来て住んでしまった」と笑う。

農家の先輩たちに温かく迎えられ、つながりが増えるにつれ、野菜の販路も拡大。トマトやネギの栽培をメインとし、さまざまな野菜を育てている。「農業は楽ではないが、1カ月ごとに違うことをやっていて、飽きることが

ない」とやりがいも感じている。両親が営む「十割そば しんざん」でも、正道さんがつくった野菜を味わうことができる。また、雫石の小学校は地産地消を大切に、地元食材を使用した給食を提供しており、正道さんが丹精込めてつくった野菜は小学生たちにも食べられている。

移住後、消防団など、地域の集まりには全て参加した。「おかげで地域にはすぐ溶け込めた。仲間意識の強い土地で農業をやるのと移住してきた人々をみんなで面倒みてくれる。就農を考えている人に雫石はお勧め」と太鼓判。スキー場もあり、仕事が終わってから子どもにナイターでスキーを教えるなど、雫石ライフを満喫している。「花や野菜、米、酪農など、なんにでもチャレンジできることも雫石の魅力の一つ」と、新たな仲間を歓迎する。

「広い大地に遠くまで続く山並み、そして岩手山。なんてきれいなところだろう」。雫石町の会社員浦田大輔さん(37)は東京都杉並区出身。妻のこずえさん(39)のふるさと雫石町を初めて訪れたときから「いつか住んでみたい」との思いを抱いていた。

家族育むまち 優しく美しく

生まれ育った都内での暮らしは「満員電車で揺られて通勤に片道1時間半。人混みが嫌だった」と振り返る。小学4年生の長女、華花さん(10)が2歳のとき、保育園の入園待ちは300、400人。近所で保育園建設の反対運動もあった。2009年に都内からの移住を決心した。

現在家族が増え、妻と長女、次女の詩歌さん(5)の4人暮らし。「子育て支援策が手厚く、医療費は中学生まで無料」と感謝する。

仕事は都内のIT企業でウェブデザイナーを担当した経験を生かし、盛岡市黒川のJA岩手電算センターに就職。町内の自宅から片道約40分かけてマイカー通勤しているが、渋滞がない分、市内に住む同僚と大きな違いはないという。午後7時頃には帰宅し、家族全員で夕食をとり、娘たちを風呂に入れ、ゆつたりと過ごす。「こちらに来て時間の使い方が大きく変わった。子どもたちと接する時間を取れるのが何より」と表情が和らぐ。

週末には、地域課題の解決に取り組む「地域づくり会議」の一員としても活動中。「雫石は23区と同じぐらいの広さがあるが人口が少なく声が届きやすい。思いを語り合い、一つ一つ形にしていきたい」と、まちの魅力向上へ情熱を注ぐ。



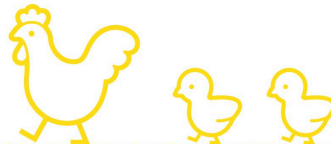
Tokyo

Shizuokishi

会社員
うらた だいすけ
浦田 大輔さん



家族と一緒に町内イベントで振る舞う特製スープカレーを準備する浦田大輔さん(左)



自校給食

県内でも各市町村で給食実施方法を給食センター方式への移行が進む中、学校ごとに給食室を持つ自校方式をとっている雫石町では、作り手と子どもたちが顔を合わせることができると自校式給食の利点を生かしながら、望ましい食習慣の形成に役立つよう生きた教材となる給食提供と食育活動を行っています。

【給食献立】各学校において、毎月19日の食育の日を中心に工夫を凝らした献立を実施しています。

【食に関する指導】各小中学校において「おやつとり方」「スポーツ栄養」「好き嫌いをしない」など学年に応じた食指導を栄養教諭・栄養士が実施しています。



放課後児童クラブ等

各小中学校に開設して子育てをサポートしています。また児童館1館を開設して、遊びを通してお子様の健全育成を図っています。

奨学金

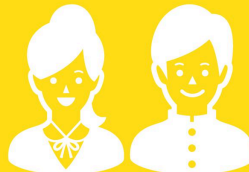
高等学校以上に進学される場合に町の奨学金制度を活用できます。

就学援助制度

経済的な理由により就学させることが困難な家庭に対して、学用品や給食費などの費用の一部を援助します。

学校給食

全校自校調理方式で、町内産の農産物を使用して食育の強化に努めています。(県立雫石高等学校では、「おかずのみ」の助成があります。)



スクールバス

遠距離通学となる小中学校の児童生徒はスクールバスの利用が可能。

緊急連絡網システム

学校と保護者間の連絡をメールにより一斉送信し情報を共有します。

スクールガード

子供の登下校の安全を確保するため地域での見守りを行っています。

教育

名古屋



家族の時間大切に 大自然の中で ペンション経営



2014年移住
上村 聡(うへむら・さとし)さん
美寿帆(みずほ)さん
ペンションHAIJI経営
雫石町長山岩手山22-202 TEL019-693-3388

「あるものを使って、工夫して暮らす。それが楽しい」。仲むつまじい様子で雫石ライフを語るペンションHAIJIの上村聡さん(42)と妻の美寿帆さん(39)。東京勤務の頃から、田舎暮らしの希望を夫婦そろって持っていたと言う。

美寿帆さんは、自身の地元である岩手でペンションを経営できる場所を探していた。「岩手中古ペンションで検索したら、たまたま雫石がヒットした」と笑う。自然の豊かさや景色の良さ、周囲の人のあたたかさ、自由な空気ふれ、雫石が大好きになった。移住後に雫石で生まれた娘の天乃ちゃん(2)は「地域の人、お客さまにかわいがってもらっている」と言う。散歩しながらクワの実をいっぱい集めたり、雪遊びをしたりと元気がいい。

「ペンション経営は忙しいが、心に余裕があり、家族の時間も多し」と雫石での暮らしに満足している。レコード収集が趣味だった聡さんは、登山をするなど趣味の幅も拡大。「除雪にも慣れ、今やきれいに除雪できるとうれしくなる」と笑う。

ペンションは3年目に入り「おかげさまで夏場は忙しかったが、お客さんが少ない冬場などは金銭的に大変な時もある」と本音もあかせる。それでも、家族と過ごせる今がしあわせ。笑顔で宿泊客を迎え続ける。

東京

雫石

東京



独立 小岩井 就職 雫石



しぼりたての生乳で おいしいチーズを

2009年移住
佐野 正晃(さの・まさあき)さん
道子(みちこ)さん
雫石チーズ工房経営
雫石町長山堀切野8-51 TEL019-613-4326

チーズ工房立ち上げ時は「補助金などの制度をよく知らなかったが、役場のおかげで準備がスムーズだった」と感謝する。町とのつながりが新たな人脈を生み、コラボ商品も誕生。雫石でのチーズ販売には嬉しい部分もあるが、ここで育ち、搾った生乳を使い、ここでつくるチーズであることに価値がある」と長く楽しんでもらえるチーズづくりに余念がない。

東京



東京

雫石



磨いたフレンチの技、 雫石でゆっくり進化

2012年にUターン
岩淵 雄(いわぶち・ゆう)さん
レストランシェフ
K-Cダイニング
雫石町長山小鉢森14-67
TEL019-693-3399

小岩井農場のほど近く、木立の中にたたずむペンション「館々倶楽部」。岩淵雄さん(38)は、隣接するレストラン「K-Cダイニング」でシェフを務め創作フレンチを中心としたメニューを提供している。本場フランスなどでの修行を経て、東京でレストランパーを経営していた岩淵さんは5年前、ペンションを営んでいた父親の死去に伴い地元雫石にUターンしレストランをオープンさせた。

東京に比べ岩手の人たちはフランス料理になじみが薄く、価格設定など悩んだという。試行錯誤を重ね、手ごろな価格で提供できる料理を考案。そのとき大きな力になったのが、地元農家が生産する新鮮野菜だった。「ご近所農家がつくる野菜は安心して使うことができるし、使いたい野菜があればつくってもらえる」。今では雫石でレストランを営むメリットを実感している。「東京とは違い、ゆったり流れる時間の中で、料理もゆっくり進化させていきたい」と気負いなく語る。

東京

雫石

栗石 LIFE

1日のスケジュール

6:00	起床
7:50	自宅出発
8:00	栗石駅到着
8:10	栗石駅発
8:26	盛岡駅到着
8:36	会社着
9:00	お仕事タイム
18:00	
18:13	盛岡駅発
18:29	栗石駅着
19:00	自宅着
23:00	家族団らんタイム
6:00	就寝

自宅出発



「栗石町定住促進住宅」栗石ライフへの憧れを持つ人は、まずはお試し居住をしてみてください。移住相談にかかる県外からの交通費は助成の対象になる場合もあるから、ちゃんと相談をしてね!

これからお仕事にいきます!

栗石駅発



JR田沢湖線乗車

栗石駅には24時間利用可能な無料駐車場があります。宮澤賢治の童話をモチーフにした駅舎がすてきでしょ。産直やレストラン、観光物産センターなどがあるって、町内在住の芸作家さんの作品が展示販売されています。

JR田沢湖線に乗って、盛岡へ向かいますよ!

栗石の魅力を伝えるために、栗石ライフのキャラクター「しずくちゃん」が活躍しています。



栗石町観光イメージキャラクター「しずくちゃん」



みなさんこんにちは。栗石牛のステーキ大好き、栗石を愛してやまない、しずくちゃんです。今回は人生を豊かにするすてきな栗石ライフを提案します!

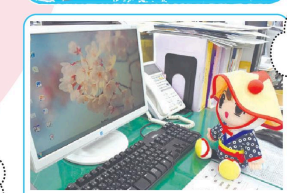
盛岡駅到着

会社まで徒歩10分

盛岡に到着!歩いて会社に向かいます。帰るまで、栗石駅に車を駐車していても良いって、とっても便利。



お仕事タイム



栗石あねっこは働きます!

おいしい栗石のお米と野菜とお肉で作ったお弁当を楽しみに、テキパキお仕事がんばります!

就寝

きょうも一日楽しかったな。栗石に帰ってくると、なんだかほっとします。お祭もいっぱいあって、本当に楽しいところ。栗石に、みんなが移住してくれるとうれしいです。

じゃあ、おやすみなさい... ZZZ...



休日のショット

手作りのアイスクリーム店、季節限定の人気アイスは私も大好きです。今回はフルーツとみそいただきます。

ちよっと寄り道

栗石駅

通勤途中の栗石駅には産直や物産センターなどがあります!ちよっとのぞいてみませんか?



駅の産直にはおいしそうなのがいっぱい!新鮮な野菜や、もちろん大好物の栗石牛も。眺めているだけでワクワクします。



物産センターでは、地元栗石の芸作家さんたちが丹精込めて作った作品が展示されています。繊密でかわいい作品ばかり!



栗石の移住・定住支援制度 住まい・住居

- 定住促進住宅の入居者を募集
- 空き家バンク制度
- 農地(畑)付分譲地コテージむらの小区画を販売(岩手県農業公社)
- お試し居住住宅
→ 定住促進住宅の一室を利用したお試し居住体験が可能
- 空き家リフォーム助成
→ 空き家バンク登録物件にかかる改修費用の1/3(上限50万円)を助成 ※18歳未満の同居者がいる場合1/2(上限100万円)
- お試し居住体験ツアー
→ 四季ごとの町の魅力を体験できるツアーを開催

住まいの補助 クリーンエネルギー設備導入補助金

- 栗石町では、平成24年度から環境負荷の少ない自然と調和した循環型社会を形成するため、町民の方を対象にクリーンエネルギー設備(木質燃料燃焼機器、太陽光発電設備、太陽熱利用設備)の導入に対して、補助金を交付しています。
- 木質燃料燃焼機器設備(薪ストーブなど)
補助金額:購入本体価格が2万円以上の機器で、購入に要する経費の2分の1以内の額で、上限は10万円。
 - 太陽光発電設備
補助金額:太陽電池の最大出力1キロワットあたり3万円を乗じた額で、上限は12万円。
 - 太陽熱利用設備
補助金額:購入に要する経費の3分の1以内の額で、上限は5万円。



- ① 小岩井農場一本桜と岩手山
- ② 生森山(七ツ森)からのパノラマ
- ③ 鶯宿温泉の逢滝・夕滝
- ④ 雫石川園地の桜並木
- ⑤ 御所 矢櫃の溪流
- ⑥ 御所街道の男助山と女助山
- ⑦ 橋場街道 舟原(ふなら)の紅葉

雫石十四景

新生雫石町60周年を迎え、皆で選んだ14の景色。

春夏秋冬の雫石の景勝地をお楽しみください。

- ⑧ 残雪の駒ヶ岳
- ⑨ 国見温泉と鹿倉橋の紅葉
- ⑩ 千沼ヶ原湿原
- ⑪ 葛根田溪谷と玄武の大岩屋
- ⑫ 滝ノ上温泉 鳥越の滝
- ⑬ 長山街道の弘法桜
- ⑭ 網張温泉 犬倉の冬景色

